



おじいさんやおばあさんに聞いたことや、学校の
記念誌きねんしに書いてあることをまとめてみました。

学校の歴史

■110年ぐらい前 (明治時代)

- ・ふつうの家やお寺をかりて勉強した。
- ・つくえがない学校が多かった。
- ・いくつもの学年がいっしょの教室で勉強していた。
- ・学校に行けない人もたくさんいた。

西郷村は、とても広いので、たくさん
の分教場ぶんきょうじょうや分校ぶんこうがあつたんだって。



■戦争の前 (昭和時代のはじめ)

- ・小学校は、4年生までだったのが、5・6年の高等こうとう科かがつくられた。
- ・中学校や専門学校もつくられた。

■戦争の後 (昭和20年ごろ)

- ・1947年、小学校6年、中学校3年、高校3年、大学4年という学校のしくみができた。
- ・義務教育ぎむきょういくとなって、全員ぜんいんが学校で勉強するようになった。
- ・昭和35年、給食が始められた。

1900年の小田倉小学校



1918年の小田倉小学校

